

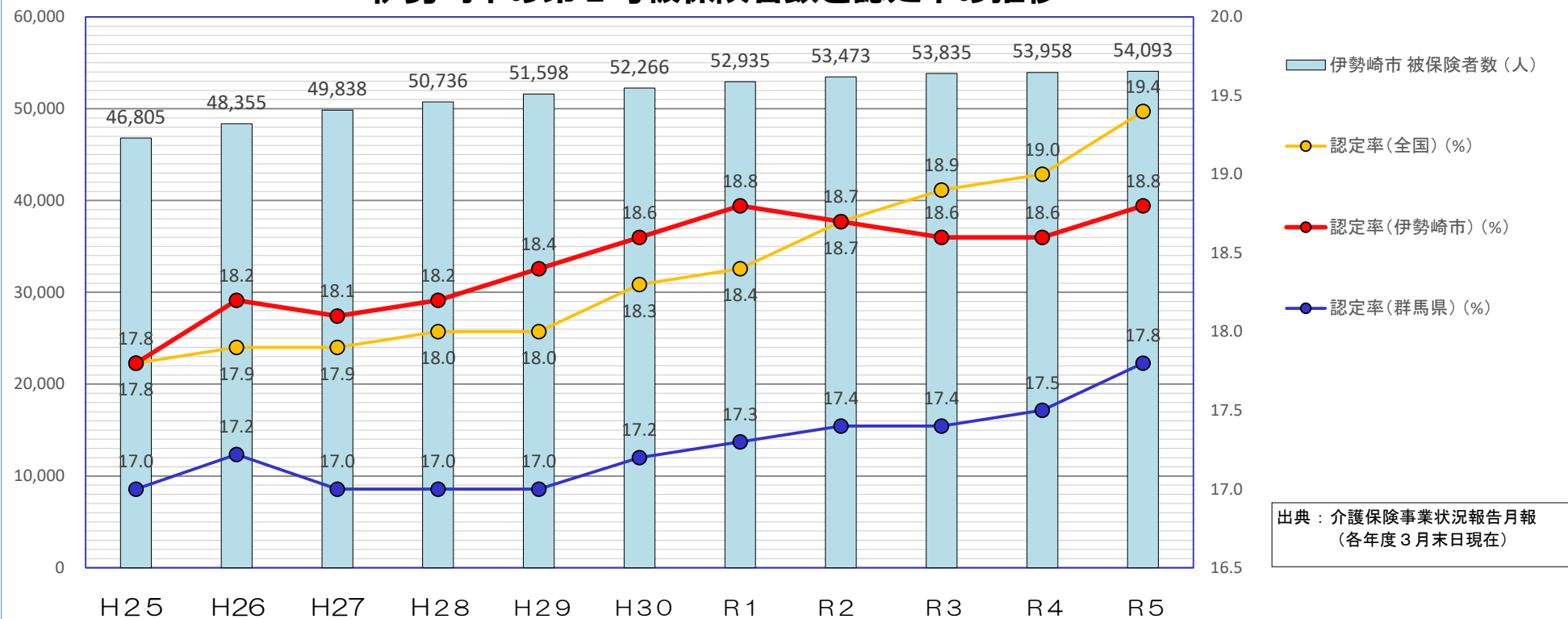
第 8 期高齢者保健福祉計画における 推計値と実績値について

－ 要介護認定 －

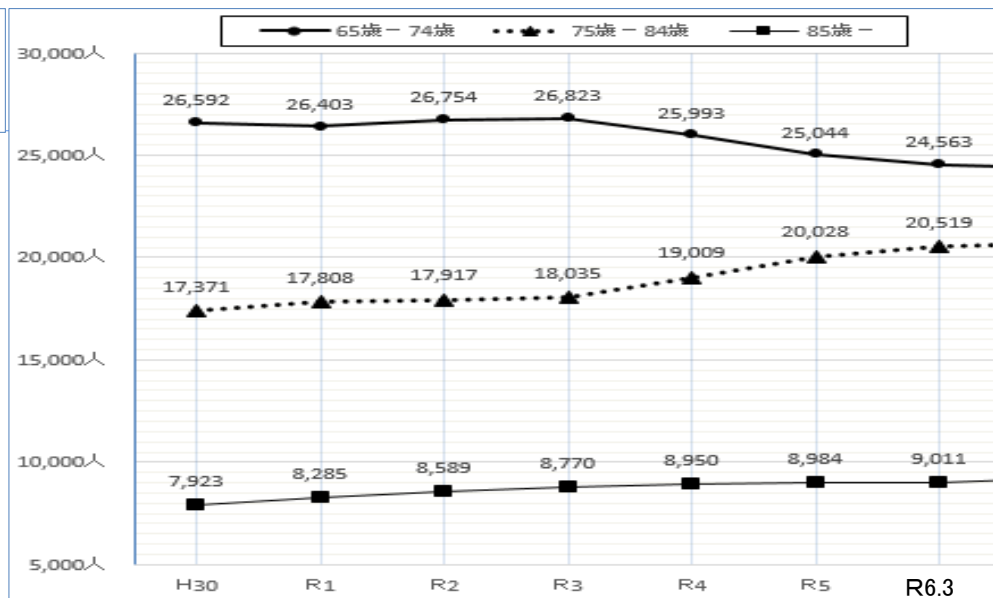
1. 現状分析 他市との比較等
2. 第 8 期計画の実施状況

伊勢崎市の介護認定の状況①

伊勢崎市の第1号被保険者数と認定率の推移



第1号被保険者数（年齢階層別）の推移



伊勢崎市の介護認定の状況②-1

伊勢崎市の要介護（要支援）認定者数・認定率の推移



認定者数（全体）の増加：H27からR5 12.8%増（※） ※全国14.6%増、群馬県11.6%増

・軽度の認定では要支援1の認定を受ける人が増加。H27からR5 22%増。

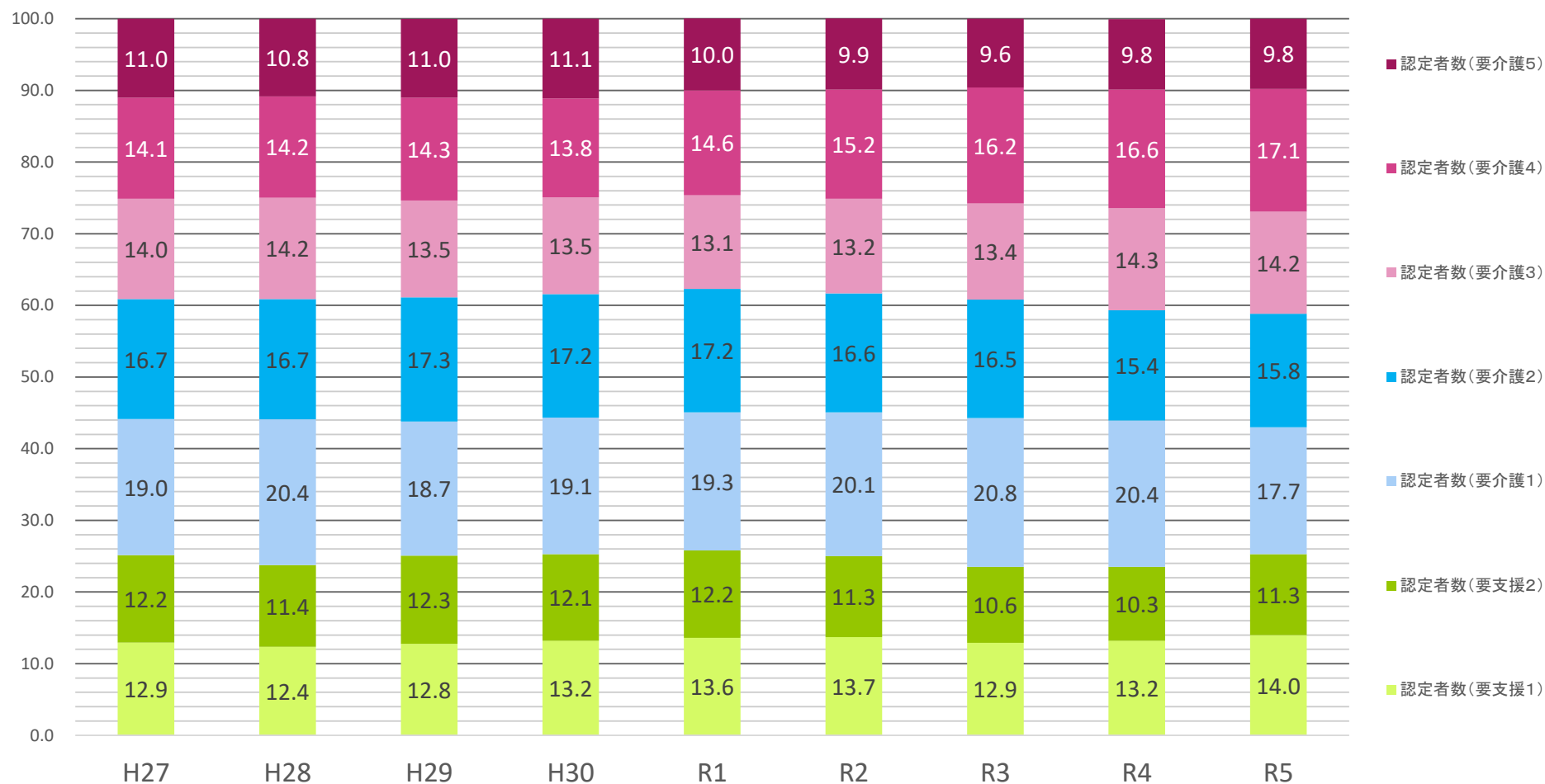
要介護1と要介護2の認定者は、認定者全体の上昇率12.8%（H27からR5）を下回っている。

・重度の認定では要介護4が増加。H27からR5 37%増。

出典：介護保険事業状況報告月報
（各年度3月末日現在）

伊勢崎市の介護認定の状況②-2

伊勢崎市の要介護（要支援）認定者 介護度別 構成比

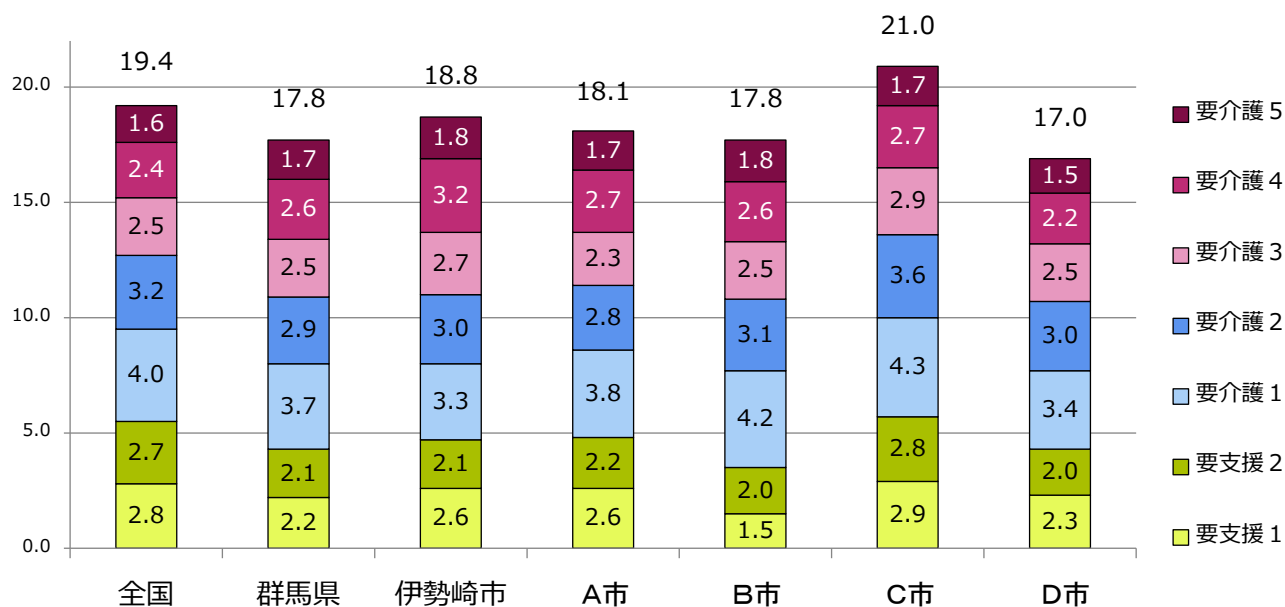


- ・要介護・要支援認定者に占める割合として、要支援1と要介護4が増加
- ・ただし、要支援1の割合 14.0% (R5) は、全国14.5% (R5) を下回っている。
- ・要介護4の割合 17.1% (R5) は、全国12.6% (R5) 及び群馬県14.7% (R5) を上回っており、顕著な点といえる。

出典：介護保険事業状況報告月報
(各年度3月末日現在)

伊勢崎市の介護認定の状況③-1

認定率（要介護度別）令和5年(2023年) 比較



(出典) 介護保険事業状況報告 月報(3月) 地域包括ケア「見える化」システム(令和6年8月6日取得)

※ 要介護度別の認定率は四捨五入されているため、全体の認定率と一致しない

要介護3以上の重度認定の割合が高い

全国、群馬平均との比較では、全国6.5%、群馬県6.8%、伊勢崎市7.7%

旧5市では最も高く、D市の6.2%と比較すると、伊勢崎市の7.7%は1.5ポイント差

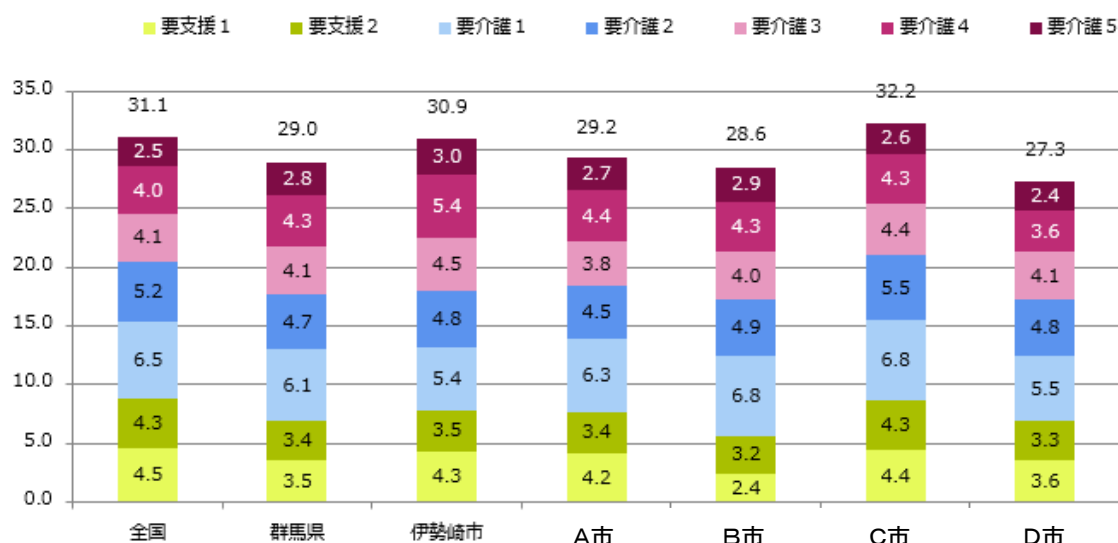
要介護1及び2(軽度認定)の割合は低い

全国、群馬平均との比較では、全国7.2%、群馬県6.6%、伊勢崎市6.3%

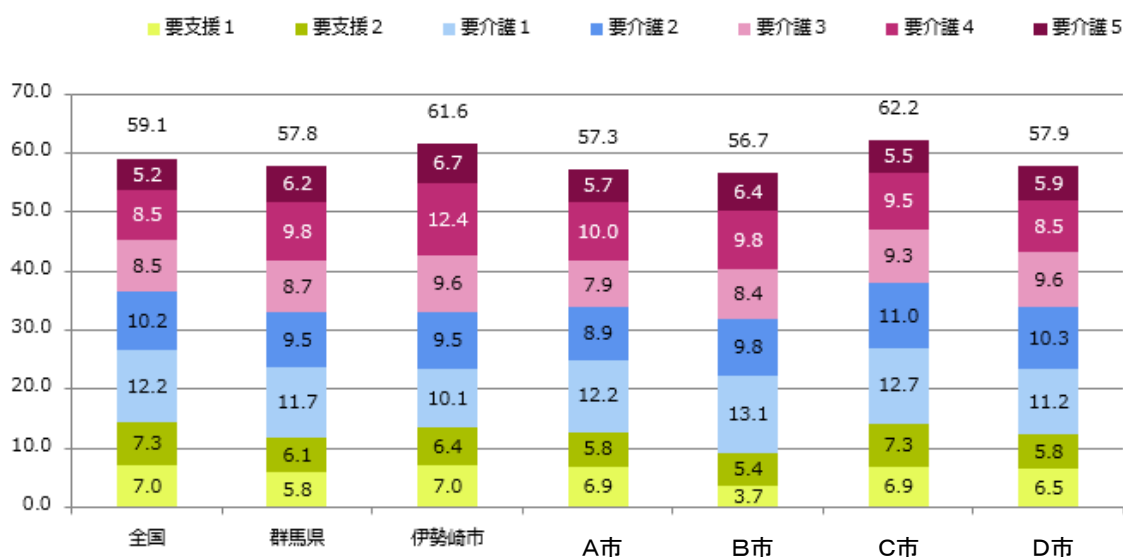
旧5市では最も低い

伊勢崎市の介護認定の状況③-2

認定率（要介護度別）（75歳以上）（令和5年(2023年)）



認定率（要介護度別）（85歳以上）（令和5年(2023年)）



※ 要介護度別の認定率は四捨五入されているため、全体の認定率と一致しない

出典：介護保険事業状況報告月報
（各年度3月末日現在）

前ページの第1号被保険者全体の割合と同様に

要介護3以上の重度認定の割合が高い

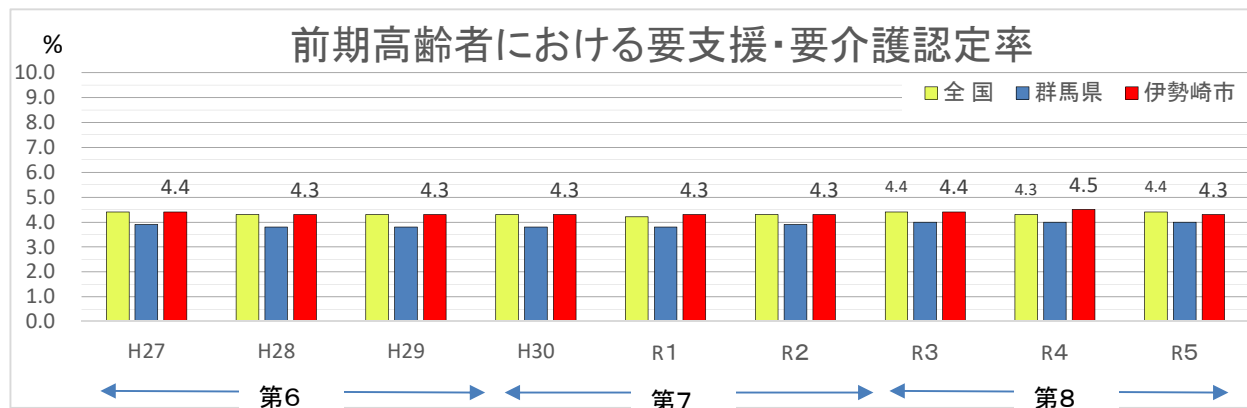
75歳以上

- ・全国、群馬平均との比較では、全国 10.6%、群馬県 11.2%、伊勢崎市 12.9%
- ・旧5市では最も高く、D市の 10.1%と比較すると、伊勢崎市の 12.9%は 2.8 ポイントの差

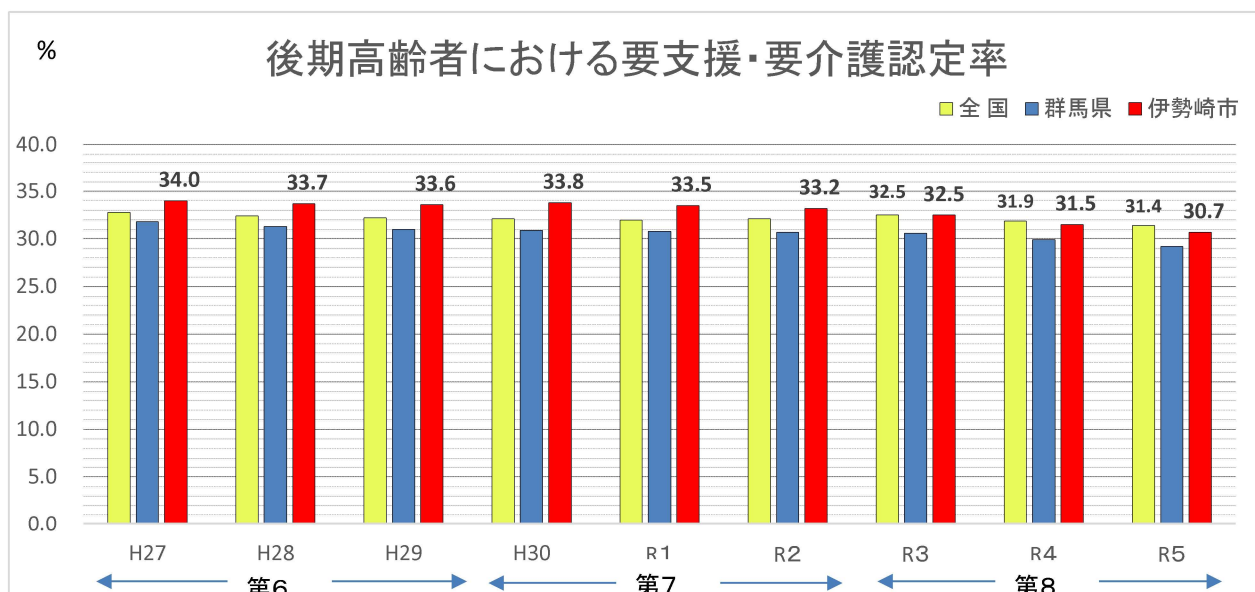
85歳以上

- ・全国、群馬平均との比較では、全国 22.2%、群馬県 24.7%、伊勢崎市 28.7%
- ・旧5市では最も高く、A市の 23.6%と比較すると、伊勢崎市の 28.7%は 5.1 ポイントの差

伊勢崎市の介護認定の状況④



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全国	4.4	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.4	4.3	4.4
群馬県	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0
伊勢崎市	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.5	4.3



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全国	32.8	32.4	32.2	32.1	32.0	32.1	32.5	31.9	31.4
群馬県	31.8	31.3	31.0	30.9	30.8	30.7	30.6	29.9	29.2
伊勢崎市	34.0	33.7	33.6	33.8	33.5	33.2	32.5	31.5	30.7

出典：介護保険事業状況報告月報（各年9月）
第9期伊勢崎市高齢者保健福祉計画

前期高齢者における認定率

本市の認定率は、全国平均とほぼ同率

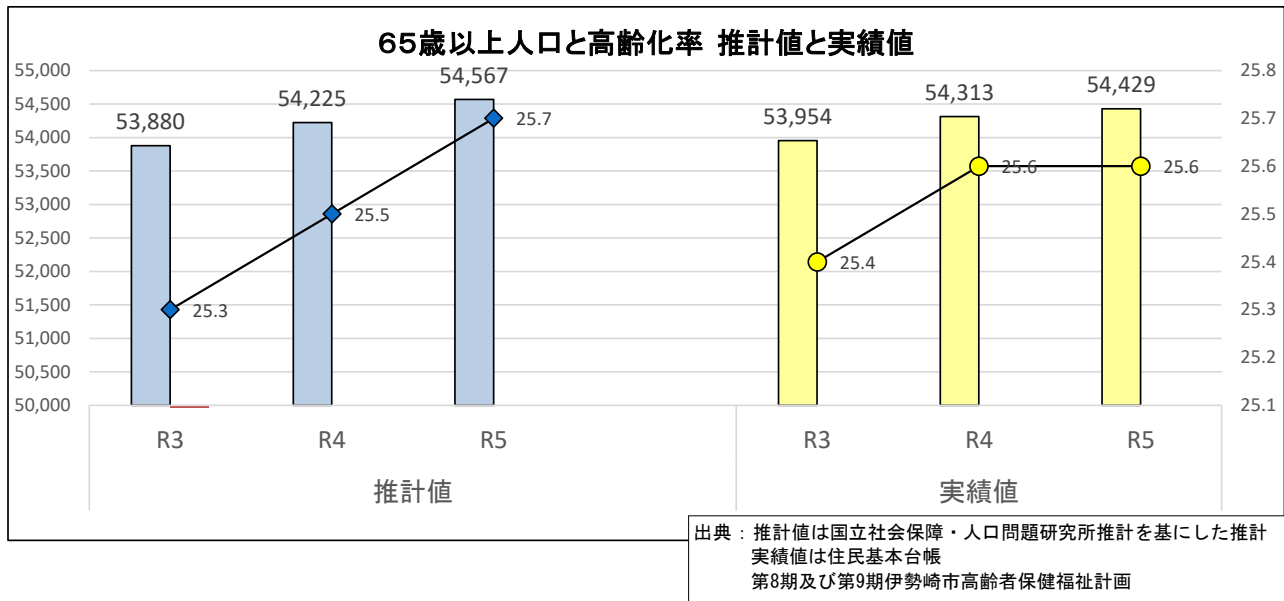
後期高齢者における認定率

本市の認定率は、第6期・第7期計画期間(H27～R2)は全国平均を上回っていたが、第9期計画期間(R3～R5)は、全国平均を下回っている。

第8期計画における人口推計の推計値と実績値

各年10月1日現在

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	推計値	実績値	推計値	実績値	推計値	実績値
A)65歳以上人口	53,880	53,954	54,225	54,313	54,567	54,429
B)生産年齢人口	131,431	131,369	131,052	131,287	130,674	131,776
C)年少人口(15歳未満)	27,517	27,348	27,115	26,705	26,717	26,186
総人口(人)	212,828	212,671	212,392	212,305	211,958	212,391
高齢化率	25.3%	25.4%	25.5%	25.6%	25.7%	25.6%



◎高齢化率は総人口に占める65歳以上人口の割合であるため、生産年齢人口等の増減によっても率変動する。

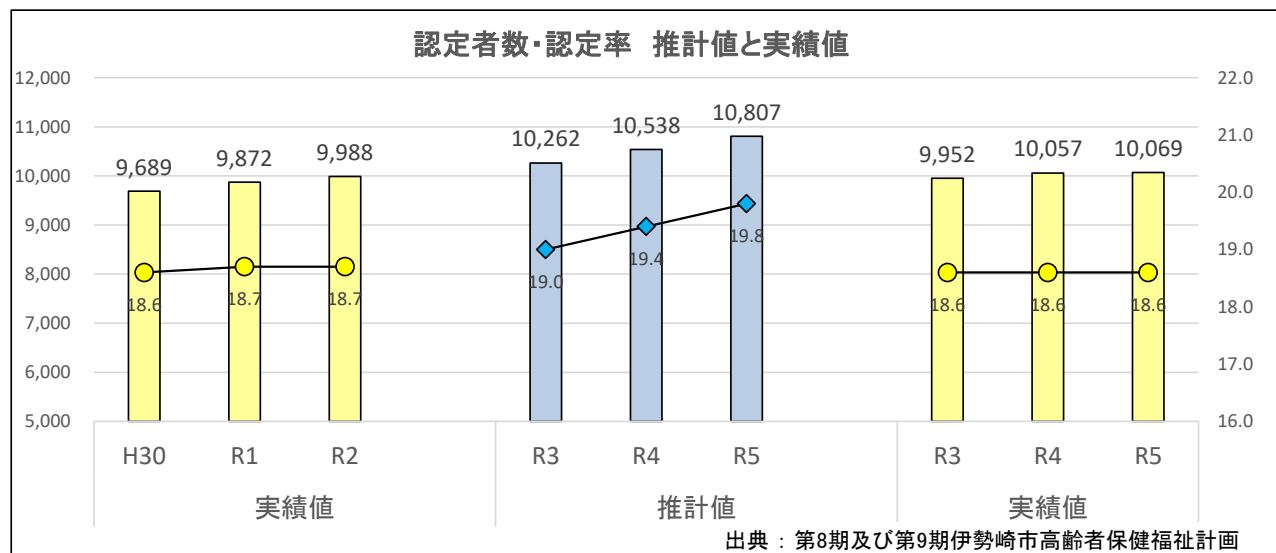
令和5年度の状況では、生産年齢人口の実績が推計人数を1,000人超上回り、高齢化率を押し下げた。

◎年少人口の実績は、推計人数を下回った。

第8期計画における認定者数・認定率の推計値と実績値

各年9月末日現在

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	推計値	実績値	推計値	実績値	推計値	実績値
被保険者数	53,880	53,628	54,225	53,952	54,567	54,056
認定者数	10,262	9,952	10,538	10,057	10,807	10,069
認定率	19.0%	18.6%	19.4%	18.6%	19.8%	18.6%



【推計】①コロナ禍の外出自粛等により要介護状態への移行リスクが高まり、令和3年度には新規の介護認定申請者が増加する。

②認定率が30%を超える75歳以上の被保険者の増加に伴い、認定者数が増加する。

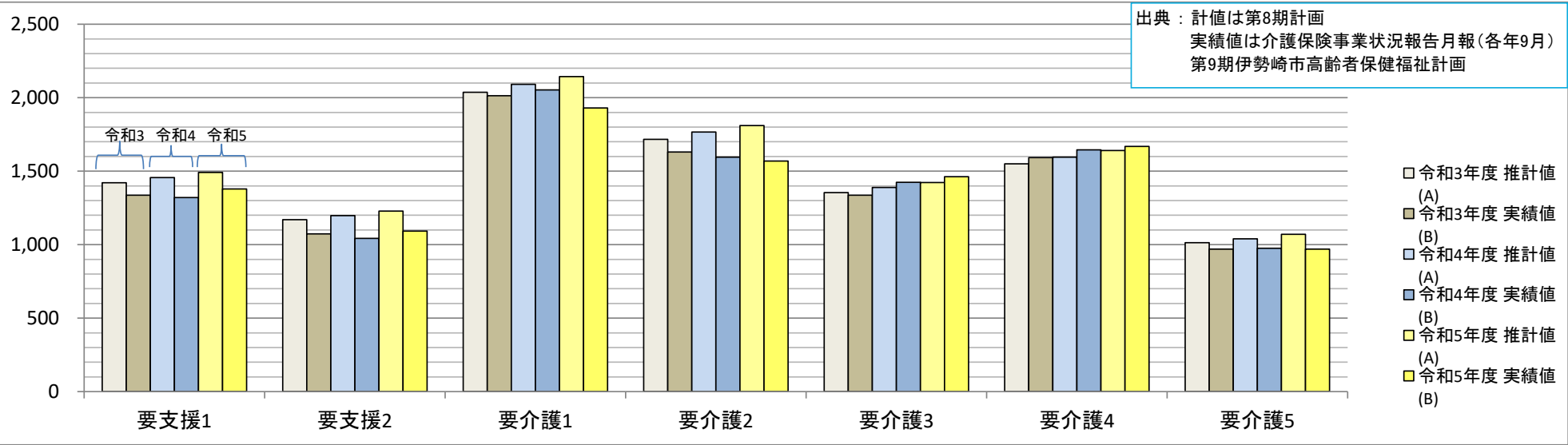
【実績】75歳から84歳の被保険者は、R2年度の17,917人からR3は18,035人、R4が19,009人、R5が20,028人とR4・R5については前年度比で1,000人余り増加した。85歳以上の被保険者についても、R2年度の8,589人からR5は8,984人と3年間で約400人増加したが、認定者数はほぼ横ばいであった。

【乖離の要因】①コロナ禍を契機に健康維持や介護予防の意識が高まり、健康に留意して出来る限り自立した生活を送りたいという高齢者が増えた。②サービスの利用控えに加え、認定控えも多少はあったものと推察する。

第8期計画における要介護度別認定者数の推計値と実績値

単位: 人数

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	推計値(A)	実績値(B)	実績(B)－推計(A)		推計値(A)	実績値(B)	実績(B)－推計(A)		推計値(A)	実績値(B)	実績(B)－推計(A)	
要支援1	1,421	1,336	▲ 85	▲6.0%	1,457	1,321	▲ 136	▲9.3%	1,491	1,379	▲ 112	▲7.5%
要支援2	1,170	1,074	▲ 96	▲8.2%	1,198	1,042	▲ 156	▲13.0%	1,228	1,092	▲ 136	▲11.1%
要介護1	2,037	2,013	▲ 24	▲1.2%	2,091	2,053	▲ 38	▲1.8%	2,143	1,930	▲ 213	▲9.9%
要介護2	1,716	1,630	▲ 86	▲5.0%	1,767	1,595	▲ 172	▲9.7%	1,811	1,569	▲ 242	▲13.4%
要介護3	1,354	1,337	▲ 17	▲1.3%	1,389	1,425	+36	+2.6%	1,423	1,462	+39	+2.7%
要介護4	1,550	1,592	+42	+2.7%	1,596	1,645	+49	+3.1%	1,641	1,668	+27	+1.6%
要介護5	1,014	970	▲ 44	▲4.3%	1,040	976	▲ 64	▲6.2%	1,070	969	▲ 101	▲9.4%
認定者合計	10,262	9,952	▲ 310	▲3.0%	10,538	10,057	▲ 481	▲4.6%	10,807	10,069	▲ 738	▲6.8%



- ・令和4年に引き続き、要介護3と要介護4の認定者(実績)が推計値をわずかに上回りました。
- ・3か年を通じて、要支援1及び要支援2、要介護1及び要介護2の認定者(実績)が推計値を下回りました。